

令和4年度 学校関係者評価報告書



学校法人森島学園

専門
学校 富士リハビリテーション大学校

学校関係者評価委員会

令和4年5月18日

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人森島学園
専門
学校 富士リハビリテーション大学校
学校関係者評価委員会

学校法人森島学園 専門学校 富士リハビリテーション大学校 学校関係者評価委員会は、「令和3年度自己点検・評価報告書」の結果に基づき、令和4年5月18日に学校関係者評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日：令和4年5月18日（水）19:00～20:00
2. 場 所：専門学校 富士リハビリテーション大学校 レクリエーション室
3. 学校関係者評価委員会出席者

氏名	所属
佐野 広実	専門学校 富士リハビリテーション大学校 後援会会長（保護者代表）
廣瀬 真人	富士整形外科病院 リハビリテーション部長（企業代表）
澤田和也	介護老人保健施設さきよの郷 事務長・作業療法士（企業代表）
森 雄司	国立病院機構 静岡医療センター 理学療法士（卒業生代表）
内田 成男	専門学校 富士リハビリテーション大学校 学校長
中村 直人	専門学校 富士リハビリテーション大学校 専任教員
宮下 正好	専門学校 富士リハビリテーション大学校 教務部長
堀池 英彦	専門学校 富士リハビリテーション大学校 事務長
中原 留美子	専門学校 富士リハビリテーション大学校 作業療法学科長
植田 英則	専門学校 富士リハビリテーション大学校 理学療法学科長

4. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施については、令和3年度における本校の「自己点検・評価」を学校関係者評価委員会で確認し、自己点検・評価の各項目に対する意見と評価をとりまとめました。

また、評価結果については、今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かすとともに教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等にて公表いたします。

5. 令和3年度自己点検・評価における学校関係者評価

職業実践専門課程用（カテゴリ-A+カテゴリ-B）

自己点検・評価表（2021モデル Ver. 1.0_B）

実施日：令和4年4月5日

学校名：専門学校 富士リハビリテーション大学校

1 学校の教育目標

【教育理念】豊かな人間性と発想力を兼ね備えた、リハビリテーションのプロフェッショナルの育成

【教育目標】礼儀と思いやりを重視した教育により、気づきの感性を育み、臨床実践に必要な判断力と実行力を身につけた理学療法士・作業療法士の育成

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和3年度の重点的目標・計画は年度計画に明記し、取り組むことができた。

・カリキュラムが体系的に組まれていることを可視化する→カリキュラムツリーの策定

・自己点検・評価及び学校関係者評価の結果を教職員に周知→教職員会議の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、ICT教育の推進等を計画的に実施できた。

3 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1			エビデンス例	
1	1	中 項 目	理念・目的・育人人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育人人材像等が明文化されているか、 職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）					
1	1	1	A	④	3	2	1	エントランスでの掲示、学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP
1	1	2	A	④	3	2	1	エントランスでの掲示、学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP、全校集会資料、保護者会・後援会資料・議事録
1	1	3	B	④	3	2	1	エントランスでの掲示、学生ハンドブック、スクールガイド、入学者選抜要項、HP
1	1	4	B	④	3	2	1	エントランスでの掲示、スクールガイド、入学者選抜要項、HP
1	2	中 項 目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）					
1	2	1	A	④	3	2	1	シラバス、学生ハンドブック、HP、年度毎の事業計画、教育課程編成委員会議事録、学科会議議事録
1	2	2	A	4	③	2	1	シラバス、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録

1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	学生ハンドブック（学則・他諸規定）、シラバス、HP
---	---	---	-------------------------	---	---	---	---	---	---------------------------

① 課題

将来構想のための社会的なニーズについて計画的調査はやや不十分である。

② 今後の改善方策

業界の諸団体と連携し、社会的にニーズの把握に努める。
臨床実習指導者・他への計画的なアンケート調査の実施。
就職に関わるデータ（求人状況・就職実績）の分析を実施

③ 特記事項

4年制教育課程の移行は順調に実施できた。
ICT教育を推進している。

2 学校運営				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	年度計画書
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	③	2	1	年度計画書、教職員会議
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	④	3	2	1	年度計画書、理事会・評議員会議事録
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間スケジュール、学則、学生ハンドブック、臨床実習の手引き
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規定等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	法人寄附行為・理事会規則、理事会議事録、評議員会議事録、運営会議議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	組織図、規定集、内部規程集
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	③	2	1	組織図、規定集、内部規程集
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか	B	④	3	2	1	運営会議議事録、学科会議議事録、年間スケジュール
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿、研修計画書、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	健康診断実施記録、就業規則
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	備品管理簿、施設点検記録

2	4	中 項 目	教職員の評価・育成（教員及び職員的能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか）								
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	指定規則、教職員名簿、免許取得証書、教員研修受講、		
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか または、教員資格取得に向けた教育・指導を行っているか	A	④	3	2	1	教員研修受講（全教員）		
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	④	3	2	1	FD委員会議事録、学生授業評価アンケート		
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	③	2	1	組織図、各種委員会・係名簿		
2	4	21	教員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	FD委員会議事録、教員研修会記録		
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取り組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	③	2	1	教員研修会記録		
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	教員実績の調査、称号等（教員）		
2	4	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	研修計画書・研修報告書		
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学修サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <u>専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）</u>	B	④	3	2	1	研修計画書		
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行なっているか	B	4	3	②	1			
2	5	中 項 目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）								
2	5	1	人事に関する制度を確立しているか	A	④	3	2	1	職員就業規則、定年制規程		
2	5	2	給与に関する制度を確立しているか	A	④	3	2	1	職員給与規定、職員旅費規程、職員退職金給与規定		
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	職員給与規定（初任給並びに給料表級基準、職員昇給基準）		
3	5	4	採用制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	職員就業規則		
2	6	中 項 目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）								
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	④	3	2	1	ポータルサイト（デスクネット）、学籍成績管理（教務部）、学生募集・学納金管理（事務部） スクールリーダー）		

① 課題

運営方針の教職員への浸透度の確認は十分とは言えない。

教員組織体制に非常勤講師が組み込まれていない。
 学修成果に基づく教員面接は必要に応じて行なわれているが、記録されていない。
 研修等の効果の具体的評価は行われていない。
 教職員と非常勤講師等との情報交換は必要に応じて行われているが定期的ではない。

② 今後の改善方策

運営方針の教職員への浸透度を確認を行い、定期的に計画書の確認を行う。
 非常勤講師を組み込んだ教員組織体制を構築する。
 教員実績および学修成果に基づく教員面接を記録する。
 研修等の効果について具体的評価を行う。
 教職員と非常勤講師の定期的な情報交換を行う。

③ 特記事項

上記の規程、規則については、デスクネットで教職員全員が閲覧可能である。

3 教育活動			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			エビデンス例		
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育人人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育人人材像に基づき教育課程の編成・実施方法（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	A	④	3	2	1	カリキュラムポリシー、HP、学生ハンドブック、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念および育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	A	4	③	2	1	カリキュラム
3	1	3	教育目的および育人人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	④	3	2	1	ディプロマポリシー、HP、学生ハンドブック、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育人人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	A	4	③	2	1	カリキュラム、シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	シラバス
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	③	2	1	シラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	④	3	2	1	シラバス、授業実施記録(講義録)、HP
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	4	③	2	1	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか。	B	4	3	②	1	FD委員会会議録

3	2	23	学生によるアンケート等で適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	④	3	2	1	授業評価アンケート公開シート
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立っているか	B	④	3	2	1	授業評価アンケート公開シート
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラム作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会名簿
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	教員研修会
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、臨床実習指導者会議議事録、実習施設承諾書
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、臨床実習指導者会議議事録、実習施設承諾書、教育課程編成委員会議事録、実習地訪問記録
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、実習施設承諾書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程、学生ハンドブック
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	学則、成績評価に関する規程、進級・卒業規程、進級・卒業判定会議議事録
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、シラバス、成績評価に関する規程
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	卒業により得られる資格・称号一覧、成績証明書、卒業証明書
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	④	3	2	1	学科会議議事録、国家試験指導グループ一覧
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎能力・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行い、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	臨床実習の手引き、実習施設承諾書、シラバス
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	③	2	1	出張報告書

① 課題

カリキュラムは体系的に構成されているが、カリキュラムマップは作成していない。
シラバスで各回の内容は示しているが、コマシラバスは作成していない。
教員間の授業評価は行われていない。

② 今後の改善方策

カリキュラムツリーを作成する。
コマシラバス、あるいはコマシラバスに準ずる計画書について検討する。
教員間の授業観察実施などを検討する。
非常勤教員への授業アンケート結果フィードバックを準備する。

③ 特記事項

学生による授業アンケートの結果フィードバックが専任教員だけだったが、非常勤講師にも行うようにした。

4 学修成果・教育成果			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
4	1	中 項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）					
4	1	1	A	④	3	2	1	成績一覧
4	1	2	B	④	3	2	1	シラバス（成績評価方法）
4	2	中 項目	就職率（就職率の向上が図られているか）					
4	2	1	A	④	3	2	1	就職説明会
4	2	2	A	④	3	2	1	就職活動状況報告
4	2	3	B	④	3	2	1	就職活動届、就職届
4	2	4	B	④	3	2	1	スクールガイド、HP
4	3	中 項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
4	3	1	A	④	3	2	1	国家試験結果報告
4	3	2	A	④	3	2	1	年間計画書
4	2	3	B	④	3	2	1	年間計画書
4	3	4	B	④	3	2	1	学科会議会議録、運営会議会議録
4	3	5	B	④	3	2	1	スクールガイド、HP
4	4	中 項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）					
4	4	1	A	4	3	②	1	

① 課題

進路決定を早期に行う意識を持たせる工夫が必要。

卒業生の動向は積極的には把握していない。(卒業生から相談があれば支援している。)

② 今後の改善方策

就職説明会の時期を早める。

最終学年に限らず、求人情報の提供、進路相談を行う。

卒業後の支援のあり方について検討をする。

③ 特記事項

5 学生支援			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
5	1	中 項 目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか。	A	④	3	2	1	学生指導相談記録簿、高等教育修学支援
5	2	中 項 目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか）	A	4	③	2	1	就職説明会
5	3	中 項 目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	④	3	2	1	学生ハンドブック
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	こころの相談室実績簿
5	4	中 項 目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	入学者選抜要項、奨学金説明会資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	④	3	2	1	健康診断案内、学生ハンドブック(年間スケジュール)、健康調査票
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	地域貢献活動報告書、サークル活動報告
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	③	2	1	
5	5	中 項 目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	4	③	2	1	学生指導相談記録簿
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	④	3	2	1	年間計画書
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	年間計画書
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	HP（職業実践専門課程の基本情報）

5	6	中 項 目	保護者との連携（保護者・保証人との連携体制を構築しているか）							
5	6	1	保護者と適切に連携しているか（保護者にニーズを把握しているか）	A	④	3	2	1	保護者会報告書、学生指導相談記録簿、後援会役員・総会資料	
5	6	2	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか	B	④	3	2	1	保護者会報告書	
5	7	中 項 目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）							
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談にのっているか）	B	4	3	②	1		
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	3	②	1		
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、HP	

① 課題

進路・就職に対する支援体制はほぼ適切だが、周知の点では改善の余地がある。

自宅から通学の学生が大半を占めるので、アパート探しの支援体制などは十分ではない。

退学率の低減を図るための教育・個別相談を行い、徐々に結果に結びついてきているが、更なる低減が必要である。

卒業生への支援体制は、学校として取り組めてはいない。

② 今後の改善方策

進路・就職に対する支援体制を、学生ハンドブックや学校要覧などで周知する。

アパートが必要な学生には、入学時に相談する体制を整える。

退学状況の分析・報告書を作成、退学率低減に対する施策を強化する。

卒業生の支援を、同窓会と連携できる方法を模索する。

③ 特記事項

学外実習（臨床実習）で宿泊、通学定期券が必要な場合は学校で手配し、支援している。

教員の中に卒業生がおり、同窓会の役員をしているため、間接的には卒業生支援に関わっている。

6 教育環境				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
6	1	中 項 目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）							
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	校内配置図、物品管理簿、シラバス、時間割	
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	④	3	2	1	図書目録	
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	物品管理簿、学生ハンドブック	
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・提示されているか	B	④	3	2	1	学生ハンドブック、玄関掲示	
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	清掃チェックシート	
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	④	3	2	1	施設・設備点検報告書、電気設備点検報告書	

6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）							
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	実習施設リスト、臨床実習の手引き	
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取り扱いに関する規定・マニュアルや規則が整備されているか	B	4	③	2	1	臨床実習の手引き	
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）							
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	学内組織図、防災マニュアル	
6	3	2	防災・防犯設備（非常等・消火器・警備システム等）が整備点検されているか	A	④	3	2	1	消防設備点検報告書、警備業務請負契約書（SECOM）	
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	④	3	2	1	防災訓練実施要項、防災訓練実施記録	
6	3	41	学校における安全管理の整備を行なっているか	B	4	③	2	1	設備管理者一覧表	

① 課題

個人情報の取り扱いについては臨床実習の手引き中に記載されているが、学内全体としての倫理規程は作成されていない。

危機管理マニュアルが不完全である。

② 今後の改善方策

学内倫理規程の作成。

危機管理マニュアルの作成。

これらの規程、マニュアルについて教職員に周知徹底を行う。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）							
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	広報担当組織図、スクールガイド、入学者選抜要項、HP、高校訪問記録	
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学者選抜要項、HP	
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学者選抜要項、HP	
7	1	4	学生に受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学者選抜要項、HP、高校訪問記録	
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか	A	④	3	2	1	HP、校務分掌	
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	④	3	2	1	スクールガイド、入学者選抜要項、オープンキャンパス配布資料	

7	1	23	入学予定者に対して学習指導・支援等が行われているか	B	④	3	2	1	入学前授業（プレスクーリング）、DVD教材学習
7	2	中項目	入学選抜（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	④	3	2	1	入学者選抜要項、HP
7	2	2	学生に受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	入試基準、入試判定会議資料
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	入学者選抜要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	入学者選抜要項、入学生のしおり

① 課題

作業療法学科の令和4年度入学生の定員が充足されていない。

② 今後の改善方策

募集活動は引き続き全学体制で取り組んでいく。次年度に向け、オープンキャンパスや高校訪問を通じて作業療法士の職業や魅力を十分に伝える活動をし、定員充足に努めていく。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	設置基準チェック表
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	④	3	2	1	組織図、学園就業規則
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規定を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	学園就業規則
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応をとっているか）						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	書面は鍵付き書庫、電子データはスタンドアロンPCおよび、VPN設定された事務PC
8	2	2	個人情報保護規定が文書化されているか	A	4	3	②	1	
8	2	3	個人情報の取り扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていくか	B	④	3	2	1	実習の手引き（各学科）
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	③	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	組織図、委員会・係一覧

8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行なっているか	B	4	③	2	1	学校関係者評価委員名簿、学校関係者評価委員会議事録
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	教職員会議
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	②	1	就職届
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	学校関係者評価報告書
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	②	1	
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	学校関係者評価報告書
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	②	1	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行なっているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	HP
8	5	22	学校関係者評価を公表しているか	B	④	3	2	1	HP

① 課題

自己点検・評価に基づき、改善計画を策定をR3年度から実施したが、改善計画に基づいた結果の検証は不十分であった。

② 今後の改善方策

自己点検・評価の結果について教職員へ周知のため、教職員会議を行ったが、今後も継続する。改善計画の策定は次年度も継続し、結果の検証も実施するよう努力する。

③ 特記事項

9 財務				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	財産目録、賃借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	③	2	1	予算書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	A	4	③	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録

9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか。	B	④	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報の公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	④	3	2	1	HP

① 課題

令和3年度は4年制カリキュラムに移行してからの2年目となり、定員数の減少に伴い、学生生徒納付金収入が、昨年度と比較し減少となった。

令和4年度はさらに定員数が減少する一年になる。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行なっているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	A	④	3	2	1	行事予定表、施設利用願
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	④	3	2	1	公開講座依頼記録、出張授業記録
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行なっているか	A	④	3	2	1	ボランティア活動記録（交通費の支援）

① 課題

公開講座等が特定の教員に偏る傾向がある。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

ボランティア活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行事が中止される等で今年度は学校への依頼は無かった。

6. 学校関係者評価委員からの質問・意見・提案事項 等

(1) 2 学校運営

- ① 4-41 教育内容の改善を図るため、非常勤講師等との情報交換を行っているか
 - 定期試験や国家試験の結果、国家試験の傾向など非常勤講師に情報提供できると良い。

(2) 5 学生支援

- ① 7-1 および 7-2 卒業生への支援体制（再就職、研修など）を整備しているか
 - 募集、求人など、学校に相談できる体制があると良い。クリニックなどではそういった情報がなかなか入手できないので、学校で支援できると良い。

(3) 10 社会貢献

- ① 1-1 および 1-2 学校の教育資源を社会貢献に活用しているか
 - 公開講座は良い取り組みなので、オンラインとのハイブリッドでの開催も検討してはどうか（感染対策で参加しにくい人も参加できるように）
 - 高等学校の出張授業は、PT・OT のことを知ってもらうという意味でも良い取り組み。

7. 令和4年度にむけての重点事項・改善計画

(1) 非常勤講師との連携体制の強化

【目的】

- ・ 非常勤講師との連携を強化することで、教育活動の充実を図る。

【令和4年度の改善計画】

- ・ 非常勤講師に対する教育活動の報告（成績、進級状況、国家試験結果など）をシステムチックに行える体制を整える。
- ・ 将来的には講師会議などの実施も視野に入れて連携の方法を検討していく。

(2) 同窓会との連携強化

【目的】

- ・ 卒業生の再就職、キャリア支援、研修活動などを支援できる体制を構築する第1段階として、同窓会との連携体制を整備する。

【令和3年度の改善計画】

- ・ 同窓会の現状を把握。学校として関わること、支援することなどの検討を開始する。

8. 総括

昨年度の自己点検及び学校関係者評価に基づき、重点事項・改善計画を下記の通り定め、学校一丸となって取り組み、大きな成果を上げることができた。

<令和3年度 重点課題・改善計画（抜粋）>

- 1) カリキュラムツリーの策定：カリキュラム体系の可視化・その他
- 2) 改善計画の策定：PDCAサイクルの確率
- 3) 教職員会議の開催（2021年6月30日）：全教職員の重点課題・内容の情報共有

2022 年度 本校は新学則・4 年制教育課程に変更後 3 年目を迎えたが、昨年度の重点課題の成果を踏まえ、自己点検・評価を実施した。その結果、全体的には概ね満足度の高い学校の運営ができたものと考えられるが、非常勤講師との連携、授業内容の吟味、卒業生支援（キャリアサポート）、改善計画へのアセスメントなどが不十分であると判断された。

以上の結果を踏まえ、今年度の重点課題・改善計画は、①非常勤職員との連携体制の強化、②同窓会との連携強化に焦点化し、教職員全体で情報共有しつつ、計画的に実行していきたい。